

令和 7 年度

鹿児島市 企業版ふるさと納税

実績報告書

地域再生計画の名称

第 2 期鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進プロジェクト

寄附の詳細

■寄附額 計 324,705,000円

■寄附対象事業

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・ 稼げるしごとで活力を「つくる」 | — 3 事業 |
| ・ 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」 | — 8 事業 |
| ・ ひとが集うまちの魅力を「みがく」 | — 3 事業 |
| ・ ひと・まちを多彩に「つなぐ」 | — 4 事業 |



●地域課題解決ビジネス支援事業

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社 r h i n v e s t m e n t、株式会社福島工務店、非公表の企業 1 社

■対象事業費（令和 7 年度決算額）

5, 1 9 1, 0 0 0 円

■寄附額計

3, 8 0 0, 0 0 0 円

■概要

ビジネスによる地域課題解決の促進や起業家支援のさらなる充実を図るため、ふるさと納税を活用して、ビジネスの手法により地域課題の解決を目指す事業者や起業家の成長を支援する団体の経営基盤の強化を図ることができました。

補助対象者の区分	活用したふるさと納税制度	交付額	主な取組実績
地域課題解決を目指す事業者（5 者）	クラウドファンディング型ふるさと納税（3 者）	1, 3 9 1 千円	・ 鹿児島の食の販路拡大による地域経済の活性化 ・ 火山灰「シラス」の有効活用による農業生産性の向上
起業家の成長を支援する団体（1 者）	企業版ふるさと納税（3 者）	3, 8 0 0 千円	・ 鹿児島県産食材を活用した愛犬用療法食の開発 ・ 起業家向け講座等の実施による起業家の成長及び事業拡大の促進

【補助金採択事業者】



●企業立地推進事業

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社プライムアシスタンス、株式会社ジーエスホールディングス

■対象事業費（令和7年度決算額）

406,967,186円

■概要

雇用の創出と地域経済の活性化を図るため、県内初進出ＩＣＴ企業等の新規雇用に対する補助金額を引き上げるとともに、立地した企業に対する新規雇用者数や設備投資額等に応じた助成のほか、事業継続に向けた人材確保支援などのきめ細かな支援を行い、企業立地を推進しました。

<実績>

- （１）企業訪問活動：①県外 28社 ②市内 118社
- （２）立地協定：20社
- （３）企業立地促進補助金：17件
- （４）現地視察及び立地環境調査補助金：1件
- （５）ＰＲＴＩＭＥＳによる広報：19件
- （６）展示会出展 企業立地フェア
- （７）立地企業ＰＲ職場見学会（8月・2月）



立地協定締結式の様子



立地企業ＰＲ職場見学会の様子

●新規創業者等育成支援事業

■寄附企業（寄附年月日順）

税理士法人経営サポートプラスアルファ、かっこ株式会社、東京コンピュータシステム株式会社、株式会社経営サポートプラスアルファ、非公表の企業１社

■対象事業費（令和７年度決算額）

9, 3 5 3, 6 3 6 円

■寄附額計

4, 4 0 0, 0 0 0 円

■概要

インキュベーション・マネージャー（ＩＭ）を「ソーホーかごしま」に配置して、助言・指導を通じた入居者の成長促進や起業・経営に関する相談への対応、創業スキル養成講座などの各種セミナーの開催等により、新規創業者等の育成を図ることができました。

<実績>

- （１）ＩＭ相談対応件数：１，１６８件
- （２）創業関連セミナー参加者数：延べ７７９人
- （３）本市支援による創業者数：９９人

【創業関連セミナーの様子】



●こどもの未来応援条例推進事業

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社ファクト

■対象事業費（令和7年度決算額）

388,915円

■概要

こどもの未来応援条例の内容やこどもの権利についての周知を進め、子どもを社会全体で守り育てるという機運のさらなる醸成を図ることができました。

【条例パンフレットの増刷・配布】

パンフレットを増刷し、新たに就学した小学校1年生に対して配布しました。

（増刷部数）小学校低学年用 6,100部

（配布先）市内の小学校1年生



こどもの未来応援条例

あなたという人は、この世にただ一人しかいません。あなたと同じ人はいないし、あなたの代わりになる人もいません。

そんな世界に1人しかないあなたが、元気でのびのび育てほしいと願い、鹿児島市ではこどもの未来応援条例を作りました。



●すこやか子育て交流館講座等事業

■寄附企業（寄附年月日順）

弁護士法人アクロピース、株式会社アレシア、株式会社ビートレーディング、株式会社ファクト、リロン株式会社、株式会社イースマイル

■対象事業費（令和7年度決算額）

1, 884, 485円

■概要

親子がつどい、ふれあう場を提供するとともに、子育て相談や講座、イベントを実施し、子育て家庭の負担の軽減が図られました。

（１）相談件数：1, 482件

（２）講座・イベント（リズム教室・お菓子作り他）回数、受講者数：

180回、3, 683人

（３）一時預かり人数：2, 354人



りぼんかんハロウィーンパーティー



りぼんかん節分イベント

●母子健康手帳アプリ運用事業

■寄附企業（寄附年月日順）

非公表の企業1社

■対象事業費（令和7年度決算額）

2,039,400円

■概要

成長記録等のデジタル管理により、母子健康手帳の機能をサポートするとともに、子育てに関連する情報が取得できる母子健康手帳アプリを運用し、健診等の受診勧奨や保健指導の拡充など、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を充実することができました。

<実績>

令和7年度新規登録者数 2,141人

（令和3年9月からの累計登録者数 13,382人）

【アプリの案内チラシ】



【配信情報イメージ】

【胎児名が入ります】こども医療費助成：オンライン申請できます

こども福祉課

鹿児島市では、中学3年生（15歳に達する日以後の最初の3月31日）までのこどもの保護者に対し、保険診療による一部負担金の額を助成しています。（市町村住民税非課税世帯は18歳に達する日以後の最初の3月31日まで）助成を受けるには支給資格の申請が必要です。申請は市役所窓口だけでなく、オンラインや郵送でも受け付けています。

【対象者】

- ・鹿児島市に住民登録があり、健康保険に加入しているこども
- ・生活保護等、他の医療扶助を受けていないこども

【助成額】

- ・保険診療による一部負担金の額
- （1）県内の医療機関等で受診した場合
医療機関等窓口で受給者証を提示すると、保険診療による一部負担金の窓口での支払はありません。
- （2）県外の医療機関等で受診した場合
領収書を助成金支給申請書に添付し、診療から1年以内に市役所へ提出してください。（オンラインや郵送申請可能）

【資格の申請に必要なもの】

- ・こどもの健康保険に加入が確認できるもの（コピー可）
（例）資格確認書、資格情報のお知らせ、マイナポータル画面等
- ・保護者名義の普通預金通帳
- ・（窓口で申請される場合）窓口に来られる方の本人確認書類（運転免許証等）

●ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業者支援事業

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社福島工務店、株式会社プライムアシスタンス

■対象事業費（令和7年度決算額）

1,608,000円

■概要

若者や女性が働きやすい職場づくりに取り組む市内の中小企業者に対し、奨励金を支給するほか、アドバイザーを無料で派遣して具体的な取組を支援しました。

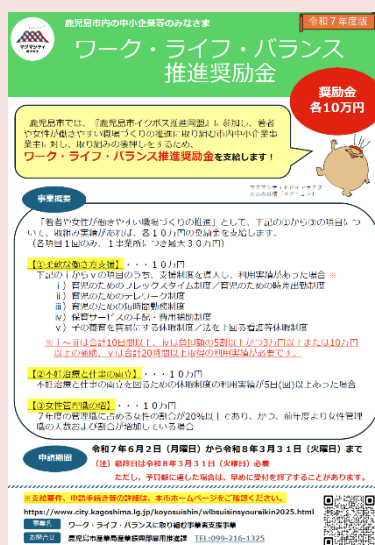
【ワーク・ライフ・バランス推進奨励金】

支給件数：15件（柔軟な働き方支援9件 女性の管理職増：6件）

【ワーク・ライフ・バランスアドバイザー派遣／セミナー実施】

（1）アドバイザー派遣：2社

（2）セミナー実施：2回（64名）



此のポスターは、福島県内の中小企業者へのワーク・ライフ・バランス推進奨励金に関する情報を提供しています。ポスターの上部には「ワーク・ライフ・バランス推進奨励金」という大きな文字があり、その下に「奨励金 各10万円」と記載されています。ポスターの中央には、企業がワーク・ライフ・バランスに取り組むための具体的な取組方法が紹介されています。例えば、「柔軟な働き方支援」として、テレワークの導入やフレックスタイム制度の導入などが挙げられています。また、「女性の管理職増」として、女性管理職の育成や女性管理職の採用などが挙げられています。ポスターの下部には、申請の条件や申請の期限が記載されています。申請の条件としては、令和7年度決算額が10万円以上であることが必要です。申請の期限は、令和7年6月2日（月曜日）から令和8年3月31日（火曜日）までです。ポスターの右下には、お問い合わせ先として「福島県労働政策課」の連絡先が記載されています。



アドバイザー派遣の様子

ワーク・ライフ・バランス奨励金チラシ

●労政広報紙発行事業

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社クロスバズ

■対象事業費（令和7年度決算額）

1,230,396円

■寄附額計

100,000円

■概要

望ましい雇用就業構造の実現、高年齢者雇用対策、障害者雇用対策、労働福祉、ワーク・ライフ・バランスの推進等、国・県・市の施策への理解を深めてもらうため、労政広報紙「中小企業のひろば」を発行しました。

【労政広報紙「中小企業のひろば」の作成】

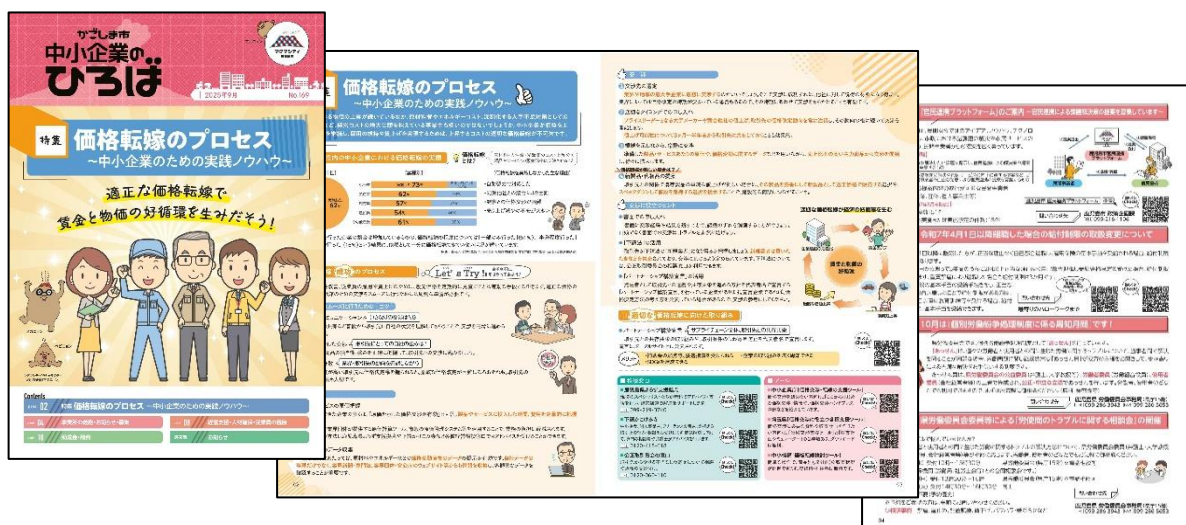
（1）発行回数 年1回

（2）発行部数 4,200部（A4版12頁）

（3）主な掲載記事

・特集「価格転嫁のプロセス～中小企業のための実践ノウハウ～」ほか

（4）配布先 市内事業所、関係団体、公共施設窓口 ほか



●女性活躍アドバイザー配置事業

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社福島工務店

■対象事業費（令和7年度決算額）

1, 131, 000円

■概要

職業生活における女性の活躍を推進する施策についての助言、指導等を行う女性活躍アドバイザーを配置しました。

- （１）被委嘱者 長利 京美 氏（株式会社新日本科学 専務取締役 C H R O）
- （２）委嘱期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日
- （３）主な活動実績

1 施策の推進への助言等
市長との意見交換
男女共同参画推進連絡会議(副市長・局長)での意見交換
職員研修会（採用3、7年目職員への研修)講師
男女共同参画審議会での意見交換
ハーモニーミーティングでの意見交換
業務打合せ・事業実施に係る助言等【月1回程度】
2 企業を対象とした取組
ＪＡ鹿児島みらい「女性活躍推進プロジェクト」研修会講師
ＪＡ鹿児島中央会研修会講師
女性活躍応援リーダーズセミナー参加
3 広報・啓発
男女共同参画情報誌「すてっぷ」への記事掲載
マスコミ取材対応
国際女性デーモザブーケの配布における民間事業者との連携
鹿児島純心女子短期大学講師
女性のためのキャリアデザインセミナー参加

●女性活躍推進事業

■寄附企業（寄附年月日順）

医療法人社団SUNRISE

■対象事業費（令和7年度決算額）

1,706,000円

■概要

女性活躍推進計画に基づき、職業生活における女性の個性と能力が十分に発揮されることを目指し、市内企業のトップをメンバーとする女性活躍応援リーダーズを発足し、事例発表、パネルディスカッション等を開催するとともに、働く女性等を対象としたキャリアデザインセミナーを開催しました。（連携中枢都市との連携）

（1）女性活躍応援リーダーズの発足

- ①構成 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進などに積極的に取り組む企業・団体等の経営者（14企業・団体等）



（2）女性活躍応援リーダーズセミナー 参加者：151人

- ①先進取組事例発表（リーダーズ企業3社）
②学生×企業パネルディスカッション
（事例発表企業代表4名、市内大学生6名、女性活躍アドバイザー）



（3）女性のためのキャリアデザインセミナー 参加者：40人



（4）女性活躍応援講師派遣事業

- ①女性活躍、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ等をテーマに
専門家等を派遣
市内企業などへの派遣回数 1回

●男女共同参画情報誌の発行

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社福島工務店

■対象事業費（令和7年度決算額）

988,083円

■概要

市民の男女共同参画に関する理解と認識を深めるため、男女共同参画情報誌「すてっぷ」を発行しました。

【男女共同参画情報誌「すてっぷ」の作成】

（1）発行回数 年2回（紙媒体1回、デジタル1回）

（2）発行部数 8,000部（規格等 A4版4頁）

（3）主な掲載記事

- ・秋号 特集「政策・方針決定過程での男女共同参画」ほか
- ・春号 特集「女性活躍応援リーダーズを発足しました」ほか



（4）配布先 公共施設、金融機関、病院 ほか約5,500か所

●歩いて楽しめるまちづくり推進事業

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社福島工務店、鹿児島堀口製茶有限会社、平和リース株式会社（宮崎県宮崎市）、平和仮設株式会社、平和ハウス株式会社、平和リース株式会社（宮崎県市都城市）、平和リース株式会社（宮崎県日向市）、平和総業株式会社、弁護士法人小杉法律事務所、株式会社マルマエ、株式会社 JECC、株式会社西原商会九州、金峰株式会社、株式会社はなまる、株式会社坂下組、株式会社新日本科学イナリサーチセンター、株式会社 fund book、株式会社トラストバンク、株式会社レゾナンス、株式会社ビジョン

■対象事業費（令和7年度決算額）

61,310,120円

■概要



【合同感謝状贈呈式の様子】

鹿児島市では「歩いて楽しめるまちづくり推進事業」の一環として、商店街等が主体となり、天文館通電停前アーケード整備を進めています。

この整備により、いづろ・天文館地区の既存アーケードが全て歩行者動線で繋がり、中心市街地のにぎわい創出や回遊性向上に寄与する公益性の高い事業です。このため、企業版ふるさと納税による支援を活用しながら事業を推進し、令和8年4月に工事契約を締結しました。

現在、発注者において令和9年の完成を目指し、整備を着実に進めております。

【発注者】天商連・みらいマネジメント天文館通電停前アーケード共同企業体

（天文館商店街振興組合連合会、（一社）天文館みらいマネジメント）

【構造・規模】鉄骨造・長さ 約30m、幅 約19m、高さ 約13m



アーケードパース図

●鹿児島ユナイテッドＦＣトレーニング施設整備等支援事業

■寄附企業（寄附年月日順）

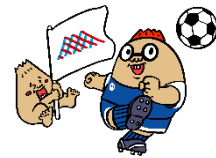
株式会社サニクリーン九州、ＧＭＯペパボ株式会社、株式会社ＮＥＸＴ、
株式会社Ｒｅ脳、株式会社宮崎塗装、株式会社新日本科学ＰＰＤ、
株式会社２ｎｄ－Ｌｅｇ、株式会社西原商会関東、株式会社西原商会九州、
株式会社西原商会中国、株式会社西原商会関西、株式会社西原商会東海、
株式会社ヒコシマリン、株式会社匠フーズ、株式会社桜寿食品、株式会社亜味撰、
株式会社クレストレード、いちご株式会社、いちご地所株式会社、非公表の企業３社

■対象事業費（令和７年度決算額）

２３０，６０５，０００円

■寄附額計

事業費と同額



■概要

企業版ふるさと納税を活用して、喜入地域の新たな拠点となる鹿児島ユナイテッドＦＣトレーニング施設整備の支援を行い、トレーニング施設の整備が進むとともに、チーム力の向上と、同施設を活用した喜入地域の活性化が図られました。

（１）「鹿児島をもっとひとつに。」プロジェクト実行委員会※へ負担金支出

２３０，６０５，０００円

※地域に根差したクラブづくりを促進し、サッカーを通じて鹿児島のスポーツ文化の発展に寄与するために設置した組織

〈構成団体：鹿児島ユナイテッドＦＣ・鹿児島市・鹿児島県・鹿児島県サッカー協会・鹿児島市サッカー協会・鹿児島市スポーツ振興協会〉

（２）トップチームを除いたトレーニング施設利用状況（令和７年度実績）：２８回



●鹿児島レブナイズブースター拡大事業

■寄附企業（寄附年月日順）

日本生命保険相互会社、株式会社W i z、非公表の企業1社

■対象事業費（令和7年度決算額）

29,200,000円

■概要

企業版ふるさと納税を活用し、これまで鹿児島レブナイズの試合観戦経験がない方を中心にホームゲームへ招待することで、ホームゲームのさらなる賑わいを創出するとともに、市内の幼稚園・保育園等へバスケットボールなどのスポーツ用品を寄贈し、新たなブースター（ファン）の拡大やチームを応援する機運の醸成を図りました。

・鹿児島レブナイズ地域活性化実行委員会※へ負担金支出

29,200,000円

※鹿児島レブナイズのホームゲームにおける集客及び賑わいの創出や、地域に根ざしたクラブづくりを促進するとともに、鹿児島の観光交流の推進やスポーツ文化の発展に寄与することを目的として設置した組織

〈構成団体：鹿児島レブナイズ・鹿児島市・鹿児島県・鹿児島県バスケットボール協会、鹿児島市スポーツ振興協会〉

【鹿児島市民無料招待・特別優待】

鹿児島レブナイズ公式ホームページやSNS、チラシ配布等により周知を行い、市民を対象とした高校生以下無料招待および大人特別優待を実施しました。

招待者数（本事業より） 無料招待：9,477人

特別優待：9,688人

実施回数：24試合



● 青少年の翼事業

■ 寄附企業（寄附年月日順）

株式会社A l b a L i n k、医療法人社団MYメディカル

■ 対象事業費（令和7年度決算額）

22,355,715円

■ 概要

次世代を担う青少年を姉妹友好都市等へ派遣し、訪問先の市民の方々と交流し友好を深めるとともに、学校交流やホームステイ等を通じて、国際化の時代を担う人材の育成等に寄与しました。

（1）派遣先・時期・派遣者

①オーストラリア・パース市	令和7年7月29日～8月8日	高校生8名
②中国・長沙市	令和7年9月19日～28日	中学生20名
③アメリカ・マイアミ市	令和7年10月24日～11月4日	中学生8名
④イタリア・ナポリ市	令和7年11月17日～25日	大学生8名
⑤フランス・ストラスブール市	令和7年11月25日～12月5日	高校生8名

（2）内容

学校交流、ホームステイ、市役所等表敬訪問、視察 など



2025 湖南省長沙市国際友好都市
サッカー大会（長沙市）



在マイアミ日本国総領事公邸
レセプション（マイアミ市）

● 動物愛護管理推進事業

■ 寄附企業（寄附年月日順）

株式会社マキタ運輸

■ 対象事業費（令和7年度決算額）

110,183,187円

■ 寄附額計

1,000,000円

■ 概要

動物愛護の取組を応援したい方などからふるさと納税等の寄附金を募り、動物の愛護や管理に関する施策の推進に活用します。

集まった寄附金は基金へ積み立てを行い、令和8年度以降、負傷動物の治療やワクチンの接種、動物愛護サポーター等への助成などの取組に活用する予定です。



●次世代を切り拓く青少年育成事業

■寄附企業（寄附年月日順）

株式会社福島工務店、株式会社木村ブロック工業、株式会社D Y M

■対象事業費（令和7年度決算額）

2,451,241円

■概要

郷土に愛着と誇りを持ち、グローバルな視野で次世代を切り拓き社会をリードする、身心ともにたくましい人材の育成を目的として、「かごしま創志塾」・「ジュニア創志塾」を開催しました。

（1）かごしま創志塾

- ・参加者数 32人（令和6年度 32人）
- ・実施期間 （7/5, 8/6～8/8, 11/15～11/16, 12/6・7）

（2）ジュニア創志塾

- ・参加者数 32人（令和6年度 32人）
- ・実施期間 （7/5, 8/6～8/8, 11/15～11/16, 12/6・7）

（3）同窓会

- ・参加者数 79人（令和6年度 98人）
- ・実施日 （8/6）



かごしま創志塾

（A L Tを英語で鹿児島市内観光案内）



ジュニア創志塾

（郷土の偉人と歴史に学ぶ）

● 母校応援ふるさと寄附金事業

■ 寄附企業（寄附年月日順）

株式会社登豊商事、ミカタコンサルティング株式会社、株式会社トレオン

■ 対象事業費（令和7年度決算額）

53,170,988円

■ 概要

市立3高校（玉龍高、商業高、女子高）を指定して寄附する制度をふるさと納税に設け、各校の財源として基金に積み立て、各校の要望に合わせた取組に活用します。

【これまでの活用実績】

玉龍高等学校：プロジェクター・冷水機の備品購入

商業高等学校：バレーボールマシン、体・体力づくりセミナー、机、椅子など

女子高等学校：学校紹介用動画制作など



【体・体力づくりセミナーの様子】



【学校紹介用動画の制作・放映】



【バレーボールマシンの購入】

鹿児島市の地方創生の取組にご賛同いただき、
誠にありがとうございました！



マグマシティ PR キャラクター マグニヨン

今後とも鹿児島市政へのお力添えを
何卒よろしくお願い申し上げます
